



## 「JSRグループ サステナビリティレポート2021」

### 第三者検証 意見書

2021年8月23日

JSR 株式会社

代表取締役 CEO エリック ジョンソン 殿

一般社団法人日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

尾崎 智



#### ■検証の目的

本検証は、JSR 株式会社で作成した「JSR グループ サステナビリティレポート 2021 (Web版)」(以後、報告書と略す)を対象として、下記の事項についてレスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 3) レスポンシブル・ケア活動(以後、RC 活動と略す)内容及びサステナビリティ活動内容について
- 4) 報告書の特徴について

#### ■検証の手順

- ・ 本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに各業務責任者及び報告書作成責任者より資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 四日市工場は、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び記載情報の正確性の調査を行いました。四日市工場の調査は、本社と四日市工場を繋いだ Web 会議方式で各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料の提示・説明を受けること、証拠物件と照合することにより行いました。
- ・ 数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・ 環境関係データの集計は、工場のデータ集計以降、本社での全社データとりまとめまで自動集計するシステムが構築され、人的ミスの入らない仕組みで運用されています。
  - ・ 温室効果ガス排出量の算出方法は、本社から計算式、使用する係数等を工場に指示されており、工場、グループ会社において同一基準で算出が実施され、今回の四日市工場の検証で集計の正確性を確認しました。
- 2) 記載情報の正確性について
  - ・ 報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し若干の指摘をしましたが、現報告書では修正されており現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) RC 活動及びサステナビリティ活動の内容について
  - ・ 企業の社会的責任を果たす CSR 活動をさらに進化させて、持続的に価値を創造するサステナビリティ活動として推進されていることを評価します。
  - ・ 保安防災活動へのドローンの活用や現場教育への仮想現実(VR)の活用等、先進的な取組みに熱心であり、良好な成果を上げている。技術革新による安全性向上をはかり企業の持続可能性を高めていることを評価します。
  - ・ グローバル企業として、労働災害に関して新たに海外グループ会社の労災情報の開示を始めたことを評価します。
  - ・ 四日市工場は、2008 年度以降環境苦情ゼロを達成していることを評価します。
  - ・ 気候変動問題に関し、2020 年 10 月に TCFD 提言の支持を表明し、提言に沿った対応に取り組み、シナリオ分析、気候変動リスクへの影響評価を進めていることを高く評価します。
- 4) 報告書の特徴
  - ・ 報告書は、ESG(環境・社会・ガバナンス)で整理したマテリアリティ(重要課題)について十分な紙面を取り RC 活動及びサステナビリティ活動内容についてネガティブ面を含め報告されています。数値データは ESG データとしてまとめられておりステークホルダーにとって理解しやすい構成となっています。

以上